

多可町商工会経営発達支援事業の評価・検証の報告書

専門家	中小企業診断士 伊藤勢津子
開催日	平成30年4月24日(火) 14:00～16:00
事業名	多可町商工会経営発達支援計画 検証委員会 (平成29年第2回)
役職等	多可町商工会経営発達支援計画 検証委員会 委員長
<p>【評価・検証項目】</p> <p>平成29年第2回の多可町商工会経営発達支援事業について評価・検証した結果、高く評価できるものと認められた。</p> <p>評価検証シートは、各事業の写真付きの参考資料も添付され、検証委員にわかりやすく作成されていた。</p> <p>また各事業は、カテゴリ一別に分けており、PDCAサイクルにもとづき、新たな改善点や方向づけもされている。</p> <p>具体的に5つのポイントについて事業評価した結果は下記のとおりである。</p> <p>①経営発達支援計画の記載事項の事業すべてが網羅されているか</p> <p>②取り組み内容が適正か</p> <p>③事業の成果・効果があるか</p> <p>④事業の遅延等なく、計画どおり適切に実施されているか</p> <p>⑤内部の事業管理体制が整っているか</p>	
①	<ul style="list-style-type: none"> ・経営発達支援事業計画全てがしっかりと網羅され、目標設定に対し達成しているだけでなく、計画以上の内容を実行しており高く評価できる。 ・具体的には、今年度の決算書をもとに財務分析を行い、従来の申告指導だけでなく財務面での指導をより踏み込んで行っているなど、会員の経営指導の進展がみられる。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・経営発達支援計画の内容はしっかりと網羅されており、事業承継、創業支援、海外展開、IT化など国の重点施策についても取組まれ、内容は適正であると認められる。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果・効果は、どの事業においても高いと認められる。 ・起業・創業関係の補助金、経営力向上計画、経営革新計画の認定件数、マル経の取り組み実績、ものづくり補助金、持続化補助金など、昨年同様に高い採択率を確保し、兵庫県内でもトップレベルの位置にある。 ・特に顕著な成果があったのは、播州織物や播州百日鶏である。播州織物では、展示会の開催などにより海外の大手ブランドからの注文があり、若手グループ全体の売上高は、昨年の2倍以上の1000万円を超える成果があった。今後も新たな海外の販路開拓の拡がりが見込まれる。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・前半では一部遅れも生じている事業もあるが、後半ではしっかりと実行されている面も見られた。 ・事業の量から考えて、一部の遅れは見られるものの全く問題がないレベルと判断する。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の事業管理体制は、月1回の経営指導員会議で情報の共有化、次のPDCAで自主的な検証もされている。これが個々の職員のレベルアップに繋がり、成果にも出ていられると思われる。 ・また昨年度の改善提案であった職員のオーバーワークの懸念について、今年度は女性職員の積極的活用を導入し、改善されている方向にある。 30年度に向けては、女性職員の新たな採用も予定されているなど、実施体制のより一層の改善が見込まれる。

【その他】

女性活用などで改善点は見られるものの、事業内容が年々高度化し、新たな事業の取組みも予定され、職員のオーバーワークの解消はまだ難しい。商工会内のIT化を進展させるなど、事務の生産性の効率などについても引き続き考慮していただきたい。

・事業承継問題は、非常に重要な課題である。今後は創業者と事業承継者をマッチングさせるためのデータ化を、多可町および兵庫県商工会連合会や金融機関などと連携し、情報共有していく体制づくりが図られようとしている。この面について早急な対応と成果を期待したい。